

# 広島市植物公園 見どころ案内

## サギソウ

(ラン科)

日本各地の湿地に生える多年草。準絶滅危惧種。白色の翼を広げた鷺(さぎ)に似た花を咲かせます。広島市植物公園のシンボルマークになっています。

## センニンソウ (キンポウゲ科)

日本各地に自生するつる性植物。白いガク片を4枚つけています。花弁ではありません。この名は果実の白い毛を仙人に見立てたものです。

## オミナエシ (オミナエシ科)

黄色の花を咲かせています。秋の七草の一つであり、日本人には馴染み深い植物です。

## レンゲショウマ

(キンポウゲ科)

太平洋岸の山深い湿り気ある場所に自生する1属1種の多年草。絶滅危惧種に指定。薄紫色の上品な花を数輪ぶら下げています。

## 変化咲きアサガオ

展示会(9月)よりも早く咲きだした鉢を展示しています。お楽しみください。

## キバナコスモスの迷路 (キク科)

メキシコ原産の一年草。オレンジ色、黄色の花が2,600本咲いています。品種はブライトライト。

## ノリウツギと夏の植物展

花の少ないこの季節に咲くノリウツギの仲間を展示。ほかに見ごろの夏咲きの植物を展示しています。(屋外展示場 8/31まで)

## ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

## アデニウム

(キョウチクトウ科)

アフリカ東部~アラビア半島原産。「砂漠のバラ」の名前で親しまれ、鮮やかな赤色花が咲いています。

## 世界の食虫植物展

(展示温室 8/28まで)

## 大温室改修のため休館中

リニューアルオープンは平成29年秋ごろです。(予定)

## アサザ (ミツガシワ科)

沼、ため池などに生育する浮葉性の多年生水草。黄色の花が咲いています。環境の変化により個体数が減少し、準絶滅危惧種に指定されています。

## ハス (ハス科)

インド原産多年生水生植物。白や桃の花が咲いています。環境の変化により個体数が減少しています。

